

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和三年七月一日発行

文責: 大西
編集: 白川

『輝き隊通信パックナンバー』と検索すれば下のQRコードからこの通信のパックナンバーを見る事ができます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。



【琴弾公園ヒストリー⑯】

『琴弾公園にある三体の銅像』



7月1日発行

「藤目儀三郎の像」 琴弾八幡宮の境内に観音寺出身、明治生まれの藤目儀三郎の像があります。観音寺尋常小学校の校長を務め、「親に心配をかけぬ人たれ」という儀三郎の言葉を金言にして生きた教え子がこのことを誇りに思い銅像を建てたというのです。

◆公園清掃日について◆

今月の清掃日は 7月5日です。
午前八時～九時（雨天：7月12日）

琴弾公園の池付近に集合

みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ 080-3211-1962

【琴弾公園クイズ⑰】

「宮本秋四郎の像」 琴弾八幡宮から琴弾公園に向かう道沿い、問答石の脇に立つ銅像です。宮本秋四郎は明治三年に三豊市詫間で生まれ旧観音寺町の町長となります。観音寺商業学校を創立し、観音寺港を完成させ市の発展に貢献しました。

「福田繁芳の像」 公園内の老人いこの家の入り口横に建てられています。福田繁芳は明治三十八年に昭和二十八年に衆議院に当選し、引退するまで七回当選しています。大阪実修女学校の創設者で、観音寺競輪場の誘致に力を注ぎ、義理人情に厚い政治家だったと伝えられています。（参考：観音寺ミニ百科）

寛談永

有明浜の海浜植物（K・M）

有明浜が西日本有数の海浜植物の群生地であることはあまり知られていません。埋め立てや海岸開発で砂浜が減少し、そこに生育する海浜植物の減少、種が絶滅した海浜が多い中、有明浜は海浜延長二・一キロ、平均幅が

六十メートルあり、希少種の海浜植物が多いことで観音寺市の天然記念物に指定されています。海浜植物の観察会などもありますのでぜひ有明浜の自然を満喫してください。財田川が排出する砂の減少により有明浜の砂が潮流で浸食され砂浜が痩せる現象が起きて、沖に砂が流れ出るのを防止する堤防が設置されています。漂着ゴミ・帰化植物の増加など、海浜植物を取り巻く環境は厳しいものになっています。海浜植物を守ることが我々の環境を守ることだということを可憐な花々が教えてくれています。

◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆
私たちちは「琴弾公園の魅力を高めることが主な目的にしている小さなボランティア団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしよう」と頑張っています。



◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆
私たちちは「琴弾公園の魅力を高めることが主な目的にしている小さなボランティア団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしよう」と頑張っています。